

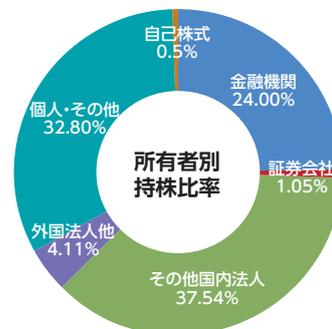
株主・投資家の皆様とともに

ハリマ化成グループは、株主・投資家の皆様に対して、適時・適切で公平な情報公開に努め、積極的な対話を心がけていきます。

株主の状況

2014年3月31日現在の株主数は3,001名で、前年同期比89名増加しました。ハリマ化成グループ株式会社の単元株式は100株としていますが、10単元以上50単元未満の所有株主の比率は約60%と最も多くなっています。

今後も投資家の皆様から魅力ある企業として評価していただき、多くの株主の皆様からご支援いただけるよう取り組んでいきます。



株式分布状況(2014年3月31日現在)

情報開示

投資家の皆様ハリマ化成グループへの理解を深めていただくために、企業情報や財務情報をはじめ、製品開発や事業展開に関する最新情報をホームページに掲載しています。今後も積極的な情報開示とIR活動に努めていきます。

剰余金の配当などに関する基本方針

株主の皆様への配当につきましては、安定した配当を継続して実施するとともに、将来の企業価値向上による株主利益の増大を目指しています。また、経営基盤の強化や積極的な事業展開に備えた内部留保の充実に努めるとともに、業績動向、配当性向を勘案して実施しています。

株主総会

株主総会は、「開かれた、わかりやすい株主総会」であること、また株主の皆様からご意見を頂戴する機会であると捉えて、次のような取り組みをしています。

1. 株主総会の開催日

より多くの株主の皆様にご出席いただけるように、3月決算株主総会の集中日を避け、2014年6月26日に開催しました。

株主総会終了後は、株主懇談会の開催や、ハリマ化成株式会社加古川製造所の視察を実施し、ハリマ化成グループへの理解をより深めていただきました。

2. わかりやすい株主総会

招集通知の早期発送、ページの大型化とカラー化、数値のグラフ化を行い、株主の皆様により早く、よりわかりやすい情報提供に努めました。

会場には大型スクリーンを2基設置し、事業報告などを映像とナレーションで行うなど、わかりやすさに重点を置いた運営を行いました。また、会場非常口の案内を映像などにより行うなど、安全面にも配慮しています。

3. 株主懇談会の開催

株主懇談会を開催し、株主の皆様のご意見をハリマ化成グループ株式会社の役員が直接お聞きしながら、株主の皆様と役員との交流を深めていただく機会を設けています。



◀株主総会後の懇談会

4. 株主工場視察の実施

株主懇談会終了後は、工場視察を希望される株主の皆様をハリマ化成株式会社加古川製造所へご案内し、ハリマ化成グループの技術や環境への取り組みについて理解を深めていただきました。

お客様とともに

ハリマ化成は、お客様が満足していただける製品とサービスを提供するため、国際規格「ISO9001」の運用により品質管理の強化を実施するとともに、お客様への情報発信を積極的に行っています。

品質向上のための取り組み

品質マネジメントシステム

ハリマ化成は、品質保証体制を整えるため国際規格ISO9001の認証を取得しています。

全部門において、品質マネジメントシステムの継続的改善と効果的な運用を実施するとともに、顧客要求事項および適用される法令・規制要求事項への適合を通じて、仕事の質および顧客満足度の向上を目指しています。

品質に対する基本的な考え方

品質方針のもと、全社が一体となってお客様の視点に立った品質向上活動に取り組んでいます。

ハリマ化成グループ 品質方針

私たちは、「自然の恵みをくらしに活かし、潤いのある豊かな社会を創造する」を企業理念とし、品質第一に徹し、顧客の信頼と満足を得る品質を提供する。

〈考え方〉

事業所の一人ひとりの行動の結果が製品品質に直結していることを認識し、

- 1.法令、規制順守を基盤にして、顧客満足の向上に努める。
- 2.定めたシステム・手順書に則った作業、是正・予防処置の適切な実施で、クレームの発生を未然に防ぎ、より高い品質の提供を目指す。
- 3.品質マネジメントシステムの有効性の継続的改善を図る。
- 4.年度品質目標を定め、適切性、妥当性、有効性を評価し、見直しを実施する。

2013年5月15日改訂

品質問題の対応

品質問題は基本的に関係部署でクレーム内容、処置、原因究明、対策、そして再発防止策の評価を行っていますが、特に影響が大きいクレームは重大と定義し、それ以外のクレームと区分して重点管理しています。

また、工程内で発生した人的ミスに関しては、なぜなぜ分析を実施し、なぜなぜを繰り返して真の原因を導き、再発防止対策に取り組んでいます。品質問題をなくしていくために、なぜなぜ分析の考え方や進め方をより適正な形になるように進めています。

改善・提案活動

品質を維持・向上し、変化する環境の中で安定して事業を継続していくためには、生産効率改善はもちろん、従業員一人ひとりの意識啓発も重要となります。

ハリマ化成では、2004年度より「小集団活動」に取り組んできましたが、改善の拡大と更なるスピードアップを図るため、その活動方法を見直し、2010年度より「改善・提案活動」として新たにスタートしています。テーマは従来の生産性向上、環境問題、省エネなどに加えて、安全や衛生、5Sなどのあらゆる業務が対象となり活動職場も広がりました。また、優秀な事例については表彰を行い、従業員の品質に対する意識の向上につなげています。今後もお客様の信頼をより一層高めていくために品質の向上に努めていきます。

●Topics

フィリピン製紙会社にて技術セミナー実施

2013年7月3日、段ボール原紙を生産しているフィリピンの大手製紙メーカーであるUnited Pulp and Paper Co., Inc社(以下、UPPC社)で、糸瀬龍次テーマリーダーと山根一洋社員がハリマ化成の製品ハーmaid(PAM:ポリアクリルアミド系紙力剤)の効果的な使用方法について、技術セミナーを行いました。

セミナーではUPPC社が抱えている問題に対し、解決できる方法を説明するなど真剣に聴講いただき、UPPC社のスタッフからセミナー開催のお礼と、今後の長期的な信頼関係を期待するとの言葉をいただき、価値ある技術セミナーを実施することができました。



▲UPPC社のスタッフと糸瀬龍次テーマリーダー(右)と山根一洋社員(右から二番目)

展示会などを通じて、お客様と積極的にコミュニケーションを図っています。

お客様への情報発信

「パインケミカル協会 (PCA) 国際会議」開催
 ハリマ化成、ハリマエムアイティ、
 Harima USA、Lawter、PlasmineTechnology
 2013.9.15~17

パインケミカル協会 (Pine Chemical Association) は、松の木から採れるロジン、トール油などの有用なパインケミカル製品の生産や消費に関わる団体で、高品質な製品を安定的に供給できるよう、安全や環境、継続的な発展を意識した活動を推進しており、世界の企業76社 (2014年8月時点) が加盟しています。

国際会議では、世界各地のガムロジンの状況、バイオエネルギー用途などが紹介され、発表に関する質疑応答が活発に展開されました。ハリマ化成グループからはプラズミン・テクノロジーの Steve Violette 社長が最終日の座長を務めるなど3日間の日程を盛会のうちに終了しました。



▲ Steve Violette 社長

「第6回 国際カーエレクトロニクス技術展」に出展
 電子材料事業カンパニー、日本フィラーメタルズ
 2014.1.15~17

近年、ハイブリッド車、プラグインハイブリッド車、電気自動車などをはじめとする経済性に優れた自動車の普及とともに、自動車用部品の電子化、高性能化、高耐久化が望まれています。

ハリマ化成では、これらの市場ニーズに対応するため、自動車メーカーおよび自動車部品メーカーと共同で開発した高信頼性鉛フリーソルダペーストや、日本フィラーメタルズが開発した高機能ヤニ入りはんだを出展しました。

期間中、ハリマ化成グループのブースに多くのお客様にご来訪いただき、製品に関するお問い合わせや、サンプルのご要請などをいただきました。



▲ブース

関係会社のハイライト

国内および海外関係社の取り組みを紹介します。

ISO9001の認証を取得
 [中国] 東莞市杭化哈利瑪造紙化学品有限公司

2013年7月にISO9001の認証を取得しました。内部品質監査を実施するなど、品質マネジメントシステムの継続的改善に努めています。また、5Sから6S (整理、整頓、清掃、清潔、躰、安全) にステップアップして工場を管理しています。



▲従業員

展示会で製品紹介
 [中国] 杭州杭化哈利瑪化工有限公司

2013年12月12日~13日、上海万博展示センターにて「2013中国国際水処理化学品、水溶性高分子、造紙化学品、工業表面活性剤技術応用展示会」に出展しました。

杭州杭化哈利瑪化工のブースでは、環境対応商品としてポリアクリルアミド系内添紙力増強剤などを出展し、製紙メーカーでの問題点や改善要望に対して、ディスカッションを通じて総合的な技術提案を行い、多くのお客様に興味を示していただきました。



▲展示会のスタッフ

「欧州コーティング大会2013」にて発表
 [ベルギー] Lawter カロ

2013年6月18日~19日、ドイツのニュルンベルグで行われた本大会は、「欧州コーティングショー2013」に先駆けて開催される学術大会です。

6月18日の「印刷インキ」セッションにおいて、LawterのEva Ramos 研究員が水系印刷インキ用のロジン変性樹脂分散材に関する開発について発表を行いました。

植物由来の再生可能な資源を原料とした樹脂の水系インキへの適用検討は非常にユニークで、近年の環境配慮への関心の高まりと相まって、大きな反響がありました。



▲ Eva Ramos 研究員

社会とともに

ハリマ化成グループでは、財団活動などを通じて科学技術の振興、芸術、文化活動の支援や人材育成に取り組んでいます。

松籟科学技術振興財団 第31回研究助成金を贈呈

松籟科学技術振興財団では、2014年2月28日に第31回研究助成金贈呈式を開催しました。2013年度は、69件の申請の中から16名の方々に総額1,600万円の研究助成金を贈呈し、1983年の創設以来、本年度を含めて延べ585件、総額6億4,283万5千円の研究助成金を贈呈しています。

式典では、文部科学省研究振興局長の小松親次郎様よりご祝辞をいただき、受賞者を代表して東北大学の守屋孝洋准教授から「この研究助成金を有効に活用し、必ず成果を出して社会に還元したい」と力強いご挨拶をいただきました。

その後、2010年度研究助成先である兵庫県立大学の生津資大准教授から「瞬間発熱機能を持つ材料開発と

MEMS実装応用」と題して研究成果を発表いただきました。

松籟科学技術振興財団は、1982年にハリマ化成グループの創業者である故長谷川末吉名誉会長が科学技術庁（現文部科学省）から「科学技術功労者賞」を受賞した栄誉を機に、1983年に科学技術の振興と世界文化の発展を願って設立されました。

そして、この設立の趣旨に沿った事業活動と実績により、2013年4月1日をもって公益法人の認定を受け、「公益財団法人 松籟科学技術振興財団」として、引き続き、科学技術の発展に寄与する研究開発への支援事業活動を行っています。



公益財団法人 松籟科学技術振興財団

設立:1983年3月

行政庁:内閣府

ホームページ:<http://www.shorai-foundation.or.jp/>

松籟(しょうらい) = 松に吹く風。また、その音。

◀第31回研究助成を受けた方々と長谷川理事長(前列中央)

ブラジル連邦議会より功労表彰

2013年5月10日～13日、ブラジル・パラナ州・マリンガ市で開催された「加古川市・マリンガ市姉妹都市提携40周年記念」に長谷川社長が樽本庄一前加古川市長率いる慶祝団とともに訪伯しました。

5月10日には、マリンガ市モレンゲラーイラ大通りに設置された鶴林寺(加古川市)の三重塔をモチーフにしたモニュメントのオープニングセレモニーが行われ、長谷川社長が桜を植樹されました。

1976年にブラジルに進出したハリマ化成にとっては、初めての海外進出であり、ブラジル・パラナ州にとっても初めての兵庫県企業の誘致でした。

5月11日には、マリンガ市議会で、長谷川社長がブラジル連邦議会から永年に亘る功労に対し表彰を受けています。現在、ハリマ・ド・ブラジルはブラジル国内で採集される松やにの1割にあたる約1万トン/年を生産しています。今後の更なる発展が使命であると考えています。



▲桜の記念植樹



▲ハリマ・ド・ブラジル本社 / パラナ工場



▲西森下院議員から連邦議会表彰を手渡される長谷川社長

労働安全衛生への取り組み

ハリマ化成は、安全をすべてに優先させるという基本理念のもとに、働く人の安全と健康を確保する取り組みを行っています。

安全衛生方針

ハリマ化成グループ 安全衛生方針

1. 地域の方々、従業員が安心して暮らし、働けるより安全な企業を目指し、安全衛生目標を定め、継続的に改善を実施する。
2. リスクアセスメントの継続により作業環境の改善と設備の本質安全化に努め、労働災害の防止を図る。
3. 安全で快適な職場環境の形成に努め、健康保持・増進を支援する。

2013年5月15日改訂

労働安全衛生活動

安全衛生方針に基づき、労働災害を撲滅するために、安全教育をはじめKYT(危険予知トレーニング)、ヒヤリハット、安全パトロール、啓蒙活動などのさまざまな活動に取り組んでいます。また、安全な働きやすい職場環境の確保を目指し、5S活動を推進しています。

安全大会の開催

労働災害防止活動の推進と、安全意識の高揚と安全活動の定着を図るため、毎年安全大会を開催しています。

大会では、安全活動表彰や職場ごとに定めた「安全決意表明」を所属員全員で強く発表しています。



▲全社安全衛生管理責任者によるあいさつ(2013.7.1)

安全体感研修の推進

安全への感性を高めるための教育手段として、擬似的な危険性を体験させる体感型安全研修を取り入れています。

受講者からは安全に対する意識が変わったと好評で、今後も推進していきます。

事故・災害発生事例の水平展開

事故や災害が発生した場合は、概要、是正を指示した「事故災害ニュース」を発行し、再発防止に取り組んでいます。また、国内・海外の関係会社にも水平展開を図るため、英語版と中国語版も作成し周知しています。

関係会社のハイライト

国内および海外関係会社の取り組みを紹介します。



高所作業の安全講習会を実施

【ブラジル】Harima do Brasil
Indústria Química Ltda.

2013年5月、高所作業における安全講習会を実施しました。外部から講師を招き、高所作業における安全帯の正しい使用方法について学びました。講習会は、座学や安全帯を着用した落下体験などが実施されました。



▲安全帯を着用した落下体験



安全衛生活動

【日本】株式会社日本フィラーメタルズ

毎月、安全衛生パトロールを実施し、5S推進や不安全箇所などの改善を図っています。



▲安全衛生パトロール
(2014.7.15)

●Topics

茨城県危険物安全協会連合会功労賞を受賞

2013年10月25日、阿見町危険物安全協会設立30周年式典において、茨城工場が「茨城県危険物安全協会連合会功労賞」を受賞しました。

この表彰は、長年にわたり同協会ならびに地域の発展と安全管理推進に尽力し、災害防止に寄与されたことが認められたものです。

今後もこの表彰に恥じぬよう、社員一丸となり同協会ならびに地域に貢献し、安全活動の活性化に努めていきます。



従業員とともに

ハリマ化成では、従業員は重要なステークホルダーであり、また会社にとって最大の財産であり、その成長が会社全体の発展につながるという認識のもと、従業員一人ひとりが安心して仕事に全力投球でき、仕事を通して自己実現できる環境の整備に取り組んでいます。

雇用と処遇

採用

ハリマ化成では「企業行動基準」の中で、採用にあたって雇用機会均等と多様性を尊重し、人種・宗教・国籍・年齢・性別などによって差別しないことをうたっており、これを基本方針とし、ホームページ、各種広報媒体を活用し応募機会を広く提供しています。

また、中途採用や派遣社員から社員への雇用の転換を進めるなど雇用機会の拡大と雇用の安定に努めています。

また、海外事業拡大に伴い、中国を中心とした外国籍の人材の採用を行っており、今後は更に国籍の拡大と採用後のフォロー体制の整備を推進していきます。

ワークライフ・バランスへの取り組み

ハリマ化成では、早くから育児休業制度(1992年)、介護休業制度(1998年)を導入し、仕事と家庭の両立を支援するための制度を整備しており、2010年度には育児目的の新しい半日休暇制度を導入するなど、従業員のワークライフ・バランスの充実に取り組んでいます。

<育児休業などの取得実績>

	2011年度	2012年度	2013年度
産前産後休暇	3	2	0
育児休業	4	4	2
介護休業	0	0	0

60歳以降の再雇用制度

企業の社会的責任の履行という側面だけでなく、能力ある人材の確保および定年退職者の生活の安定を図る目的で、2006年4月より、「継続雇用制度」を導入しています。定年退職者が健康で60歳以降も継続して働く意欲がある場合で、会社との合意ができた場合は、最長で厚生年金基礎部分の支給開始年齢に達するまで雇用を継続することができる制度です。従業員が60歳以降も知識や経験を十分に活かして働きがいを持って就業できると同時に、収入不足に対する不安の解消にも繋がります。

女性の活躍推進

女性の活躍を推進するため、キャリアビジョン策定に向けた女性社員キャリア形成研修を実施しており、その中で、育児休業制度などを活用したワークライフ・バランスの実現も推奨しています。

また、スタッフ職から総合職への転換制度を導入し、女性の活躍の場の拡大を推進しています。

障害者の雇用

障害者の雇用については、通年採用を実施し雇用機会の拡大に努めています。

2013年度障害者雇用率は3.3%で、法定雇用率2.0%を上回っています。今後も新卒採用に加え、中途採用も積極的に実施し、雇用機会の拡大に努めていきます。

人材育成

従業員一人ひとりの能力向上を支援するために教育研修にも力を入れています。特に、フォローアップに注力し、研修の内容を確実に習慣として身につけて「能力」とすることを研修の主眼としています。これらの教育研修を通して、「自己の成長を感じ、働きがいを持って仕事に取り組める」環境づくりを推進しています。

研修プログラムについては、年間実施計画およびその内容を社内のイントラネット上にオープンにし、自己のビジネスプラン形成や部下育成に活用できる体制としています。また、2009年度よりeラーニングを導入し、基礎教育およびテーマ別の教育に活用しています。

今後は、激変する市場変化に対応できるグローバル企業実現のため、「実践的な人材育成」に向け、更なる教育プログラムの強化、導入を実践していきます。

<主な研修プログラム>

階層別研修(集合教育)	テーマ別研修(集合など)	選抜型研修(派遣)	自己啓発支援
新入社員導入研修 新入社員フォロー研修 リフレッシュ研修(2年目社員) チャレンジ研修(3年目社員) キャリア開発研修(中途採用者) 女性社員キャリア形成研修 昇格候補者研修(監督職、管理職) 昇格者研修(指導職、監督職、管理職) 考課者訓練研修(管理監督職)	ライティングセミナー コーチングセミナー 基本動作研修 eラーニング ・コンプライアンス ・情報セキュリティ ・メンタルヘルス ・安全輸出貿易管理 など	幹部候補者研修(監督職) 経営幹部候補者研修(管理職)	海外留学制度 国内留学制度 語学留学制度 公的資格取得支援 通信教育 語学研修

人事制度

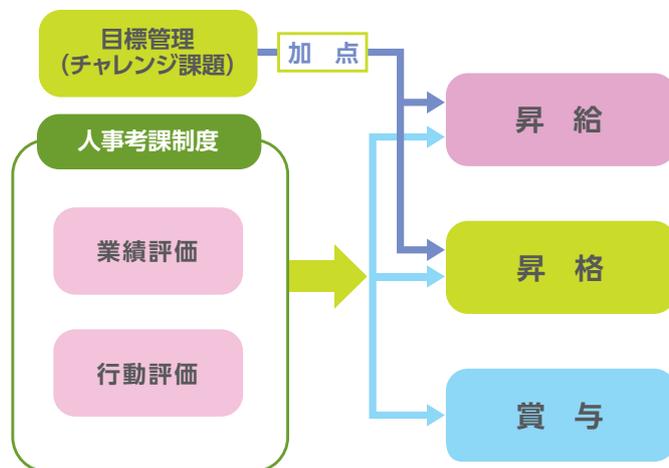
次代を担う人材の育成に資する制度として、成果だけでなく、行動評価(プロセス)を評価項目として取り入れ、更にはチャレンジに対して、その努力にも報いる加点主義を基本方針とした透明性の高い人事評価制度を導入しています。

従業員は、役割責任にリンクした行動評価基準により、一人ひとりが担っている職務に対して求められる行動、能力、資質を理解し、自らが育成課題を掲げ、その結果が報酬に反映されます。

また、現在の役割基準を上回るチャレンジ課題に挑戦する制度を設けており、このチャレンジ課題は未達成であっても評価の減点はなく、達成すれば加点する制度として運用しており、果敢にチャレンジできる風土の醸成と人材育成のスピード化を図っています。

成果主義に束縛されず、行動評価とチャレンジ課題への挑戦を通して、働きがいのある環境を整備しています。

また、制度の運用面でも2010年度より、「計画的な人材育成のための人事評価制度の活用」をキーワードに、より実態に則し、効果的な運用ができるよう制度の見直しに取り組んでおり、概要ができあがりました。



福利厚生

従業員が持てる能力を最大限発揮できる環境をつくり出すための福利厚生制度や、従業員自身が病気になったり、家族の介護が必要になったときなど、いざというときのセーフティネットとなる制度も整備しています。

また、2008年1月よりメンタルヘルスケア制度を導入し、従業員だけでなく従業員の家族も利用できる体制を整えています。

セーフティネット/長期休業補償制度

従業員が病気やケガで就業できなくなった場合に、収入の減少をカバーし家族の生活をサポートするための制度で、社会保険での補償期間18ヶ月を超えて就業できない状態が継続した場合に、最長満60歳まで収入をカバーする制度です。

本制度では会社が基準給与月額60%を補償し、従業員の任意加入上乗せにより最大基準給与月額の90%が補償されます。

健康・医療・メンタルヘルス相談サービス

社員とその家族の体と心の健康の保持・増進と各個人のセルフケアのサポートを目的として、健康・医療・メンタルヘルスに関する相談サービスを整備しています。

本制度では精神的負担の約半分が法律に関連するといわれていることより、法律相談サービスも整えてサービスの充実にも努めています。

また、2010年4月より全社統括産業医を任用し、統括産業医による教育の充実および専門的なサポートができる体制としメンタルヘルスケアに努めています。

●Topics

ホームページ「採用専用サイト」をリニューアル!

ホームページの採用専用サイトをリニューアルしました。ハリマ化成グループらしさをよりダイレクトに伝えられるように、閲覧される方の側に立ちデザインを工夫するなど、「見やすさ」「わかりやすさ」を意識し、訴求効果がより高くなるように、一から作り込みました。

また、ハリマ化成グループの仕事をより理解していただくために、従業員へのインタビューを充実させていますので、是非一度ご覧下さい。



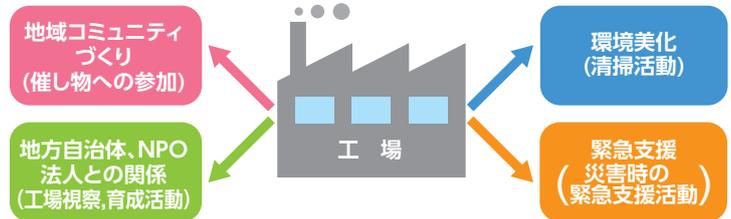
▲リニューアルした採用専用サイト

地域社会とともに

ハリマ化成は、「地域とともに発展することが企業の使命である」との認識にもとづき、地域の皆様や社員とのよりよい関係づくりを心がけています。

良き企業市民として

工場見学を通してハリマ化成の事業活動や環境への取り組みなどを紹介し、社会の一員として、地域の一員として相互理解を深めています。



地域交流

夏祭りにそば屋を出店

2013年8月17日に加古川製造所のある水足町内会で夏祭りが開催され、ハリマ化成は「そば屋」を出店し、地元の方々とともに夏のひとときを楽しく過ごしました。



近隣清掃活動

自ら主催する活動のほか、地域が主催する活動にも参加しています。



▲四国工場(2014.6.9)

工場見学

地域の皆様との交流、相互理解を深めるため工場見学を実施し、有意義な意見交換などを行っています。

加古川市友好親善訪問団が中国杭州の2拠点を視察

樽本庄一前加古川市長をはじめとする加古川市友好親善訪問団一行が、2013年10月25日に中国杭州市の杭州杭化哈利瑪化工、杭州哈利瑪電材技術にご来訪していただきました。杭州市の概要やハリマ化成グループの中国における製紙用薬品事業および電子材料事業の紹介、各工場視察を実施し、ハリマ化成グループの中国での事業展開の一旦をアピールしました。



▲杭州杭化哈利瑪化工の視察



▲杭州哈利瑪電材技術の視察

次世代の教育支援

学生を対象とした工場見学会や職場体験のためのインターンシップなどを実施しています。

富士工場 インターンシップ

2013年6月7日～8日、富士工場で高校生を対象としたインターンシップを行いました。



「第6回 サイエンスフェア in 兵庫」に出展

文部科学省では、科学技術における将来の国際的な人材を育成するために、先進的な理数教育を実施する高等学校などを「スーパーサイエンスハイスクール(SSH)」に指定し、体験的、問題解決的な学習の支援活動を行っています。

2014年2月2日、神戸市で「第6回 サイエンスフェア in 兵庫」が開催され、ハリマ化成も製品や説明パネルを展示し、高校生から活発な質問が寄せられました。

茨城工場 インターンシップ

2014年2月25日～26日、茨城工場で高校生を対象としたインターンシップを行いました。



▲ハリマ化成の製品や説明パネルに興味を示す高校生

関係会社のハイライト 国内および海外関係会社の取り組みを紹介します。

 **地域清掃活動(アドプトロード・プログラム)**
[米国] Harimatec Inc.

アドプトロード・プログラムとは、ボランティア団体が地元行政機関と協力しながら道路の一定区間を継続的に清掃管理することで、地域の環境美化に貢献する制度です。

ハリマテックは、2008年6月に地元グイネット郡(Gwinnett County)*と合意書を締結して以来、工場前のEvergreen通りの定期清掃に努めています。



▲ Evergreen 通り



▲ Evergreen通りの定期清掃(2013.8.6)

* **グイネット郡**:ハリマテックが所在するジョージア州の郡(州の行政区)。

 **技術学生協会(Technology Student Association)を支援**
[米国] Plasmine Technology, Inc. ベイミット工場

技術学生協会とは、科学、技術、工学、数学などに興味を持つ学生のニーズに応える非営利学生団体です。同様の目標や興味を持った学生の間で、教室を超えて、課題を追求する機会を与えています。

プラズミン・テクノロジー/ベイミット工場の近隣にあるベイミット中学校では、科学、技術、工学、数学などに興味を持つ学生が地区大会、州大会(アラバマ州)、全米大会で競い合うなど各テーマで非常に優秀な実演を行っています。

同工場では、このような若い生徒の技術を発展させるための要請に応じて、ベイミット中学校に寄付しています。また、Philip Ulichney工場長は大会の審査員をするなど従業員が会の運営に協力しています。



▲TSAに協力するPhilip Ulichney工場長(左)と従業員

 **募金活動**
[中国] 杭州杭化哈利瑪化工有限公司

2014年2月、杭州杭化哈利瑪化工の従業員の長男(6歳)が白血病と診断されました。患者を支援するため、杭州杭化哈利瑪化工の労働組合は社内で募金活動を始めました。



▲募金をする従業員

●Topics

賀古の里大学講座にて長谷川社長が講演

2013年10月4日、加古川製造所に隣接する加古川市立綾南公民館が開講している賀古の里大学(高齢者大学)の学生を対象に、長谷川社長が「松の化学(パインケミカル)で加古川から世界へ」と題して講演されました。

この講演は、世界規模の企業がなぜ、加古川市野口町水足(地元)にあるのか、その歴史、沿革も含め事業の内容について、是非講演してほしいという学生の強い希望から実現したものです。

聴講を終えた学生からは、「本当に分かりやすく、楽しい講演でした」と大変嬉しいお言葉をいただきました。



保安防災への取り組み

ハリマ化成は、防災への対応を怠らず、日常業務の中で企業防災を心がけています。

災害から身を守るために

2011年3月11日に発生した東日本大震災のような大災害から身を守るためには、平時から準備や心構えを整えておかなければなりません。

ハリマ化成では、2006年から全従業員に帰宅困難者用のエマージェンシーキット(防災グッズ)配布や、安否確認システムを導入するなど行ってきましたが、東日本大震災の教訓を活かし、保安防災への取り組みを強化しています。

防災用の備蓄品

- エマージェンシーキットの袋をウエストポーチからリュック式に変更して、内容の充実を図りました。
- 備蓄品として被災時に最低限必要となる防災用品を配備した上で、拠点ごとの事情に応じた整備を行っています。
- 工場には、緊急地震速報装置を設置するとともに、非常用発電機の設置も進めています。



▲エマージェンシーキットの中身



▲災害救助用毛布の備蓄

通信手段の確保

2013年4月より、災害で被災した拠点の状況を確認する通信手段として、ボイス・ポケット・トランシーバー(V.P.T.)を国内17拠点に設置しました。

V.P.T.は、現在災害時通信規制の対象外であるため、災害発生直後でも通話が可能であると判断し採用しました。



▲ボイス・ポケット・トランシーバー

帰宅困難者の対策

借り上げ住居の一部や、社有マンション数室を避難場所に使用できるようにしています。

災害時安否確認システム

災害発生時に従業員などの安否状況をいち早く確認できるように、2006年から安否確認システムを導入しています。

また、不定期に安否を連絡する返答訓練も繰り返し行っています。

防災訓練

防災訓練は各拠点において毎年実施しており、拠点に応じたより実践的な内容で行っています。

東京工場(2013.6.27)

最先端のAEDを設置し、講師を招いて取り扱い講習会を開催しました。

<最先端AEDの特長>

- ・CPRセンサーとパッドが一体型で誰でも簡単に正確にパッドを装着できる。
- ・心肺蘇生中は胸骨圧迫度合いを音声とメッセージで確実に誘導し、かつ適正なリズム音とともに心肺蘇生ができる。



▲講師による講習会

北海道工場(2013.8.29)

大津波警報が発令されたとの想定で避難訓練を行い、避難場所(高台)、移動に要する時間、ルートの確認を行いました。高台への避難はルートが分かりにくく予想以上に時間を要した結果となり、改めて訓練の大切さを感じました。

いつ災害が発生しても迅速かつ冷静に行動ができるように、今後も訓練を実施していきます。



▲避難場所の確認

大阪本社(2013.11.26)

大阪本社が入居しているビルで消防訓練が実施されました。

訓練には大阪市中央消防署員が立ち合いのもと、避難訓練、消火器の使用法の指導、AEDの取り扱い説明がありました。万一自分が救命する立場になった時のことを考え、参加者全員が真剣に訓練を行いました。



▲消火器を使用した訓練

仙台工場(2013.11.12)

防災訓練は、「漏洩」、「停電」、「火災」、「地震」に分けて年4回実施しており、今回は火災発生を想定した消火訓練を行いました。

仙台工場は東日本大震災を実際に経験していますので、今後も起こり得る災害に備えて迅速に対処できるように、実践的な訓練を行っていきます。



▲放水訓練

関係会社のハイライト 国内および海外関係会社の取り組みを紹介します。



消火訓練

[米国] Harimatec Inc.

2013年11月20日、火災などの緊急事態の発生に備え、消火訓練を実施しています。消防署からは指導職員を派遣していただき、火災時の対処方法や消火器の取り扱い方法、消火方法について指導していただきました。訓練を通して、消火活動の重要性を確認しています。



消火訓練・避難訓練

[日本] 株式会社セブンリバー

■消火訓練

2013年10月25日、火災発生による初期消火など、各自がとるべき初動対応を、全員が迅速かつ確実に身につける訓練を行っています。工場には危険物施設があるため、近年多発しているプラント爆発事故を他人事と思わず、常に緊張感を持って業務に取り組んでいます。



■避難訓練

2014年3月7日、大規模地震が発生したと想定した避難訓練を行いました。近い将来発生すると予想されている南海トラフ巨大地震など、いつ発生してもおかしくない大規模地震から身を守るため、常日頃から高い防災意識を持つよう努めています。



総合防災訓練

[中国] 東莞市杭化哈利瑪造紙化学品有限公司

2013年12月20日、従業員の突発事故の対応能力の養成と、火災発生時の組織の迅速な行動で火災損失を最小限にとどめるべく、消防安全教育の一環として総合防災訓練を行いました。訓練は全従業員23名が真剣に対処し、保安防災に対する意識向上を高めることができました。



▲放水訓練



▲救護訓練



防災訓練

[チェコ] Harimatec Czech, s.r.o.

2014年6月、緊急事態に備え、消火および漏洩訓練を行いました。



▲消火訓練



消防安全勉強会の開催

[中国] 杭州哈利瑪電材技術有限公司

2014年7月、杭州消防安全教育センターの指導員による消防安全勉強会を開催しました。防火、火災時の対応について講演いただき、従業員の防災意識、緊急対応能力の向上に取り組んでいます。

